

日本臨床内分泌病理学会 理事会 議事録

日 時：2025年6月6日（金）12：00～13：00

場 所：幕張メッセ 中会議室 101B 1階

出席者：方波見卓行、近藤哲夫、井下尚子、田辺晶代、中村保宏、矢澤卓也、水上浩哉、
田中知明、井野元智恵、大山健一、福岡秀規、和田典男、長村義之、成瀬光栄、
笹野公伸

欠席者：西岡 宏、柴田洋孝、鈴木 貴、黒崎雅道、中島正洋、大月道夫、大池信之、
菊地元史、山田正三

同席者：事務局

議 題：

<審議事項>

1. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の候補者の件
2. 名誉会員、功労評議員推薦の件
3. 研究賞選考委員の件
4. 幹事追加の件

<報告事項>

5. 第28回（2024年度）学術総会の報告
6. 第29回（2025年度）学術総会の準備状況
7. 第30回（2026年度）学術総会の準備状況
8. 学会ホームページへの企業バナー掲載状況
9. コンサルテーションの現状について
10. 第99回（2026年度）JES学術総会プログラム委員会の報告
11. 会員の状況について
12. 学会への寄付金、奨学金、賛助会員の状況
13. 評議員就任状況について
14. 日本内分泌学会100周年特別企画プログラムについて
15. 第19回国際比較内分泌学会議（ICCE19）の件
16. 次回理事会の開催予定について

冒頭、方波見卓行理事長より、理事現在数の3分の2（9名）以上の出席により本理事会は成立する旨の宣言があり、引き続き同理事長により議事進行が行われた。

1. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の候補者の件

方波見理事長（学会賞選考委員長）より、特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の候補者について選考委員会での以下の審議結果が報告され、満場一致で承認された。

選考委員会：書面による持ち回り審議

特別功労賞選考期間：2025年3月13日～4月4日

佐野賞・亀谷賞選考期間：2025年3月13日～4月4日

選考委員：委員長＝理事長

委員（7名）＝副理事長、5筆頭理事、当該年度会長

（なお、各賞応募者の推薦者は選考には加わらない）

（1）特別功労賞

- ・島津 章（社会医療法人誠光会 淡海医療センター 先進医療センター
院長特別補佐 兼 先進医療センター長）

（2）佐野賞

- ・鈴木 佐和子（一般会員、千葉大学）
テーマ：副腎疾患の診断率や治療の向上・新たな病態解明を目指して

（3）亀谷賞

- ・二川原 健（評議員、つがる総合病院）
テーマ：臨床病理学的観点からの地域二次医療機関における多彩な内分泌疾患、
特に神経内分泌疾患の診療に関する研究

2. 名誉会員、功労評議員推薦の件

方波見理事長より、今年度の名誉会員および功労評議員の被推薦資格の該当者はなしとの報告があった。

3. 研究賞選考委員の件

矢澤卓也理事（第29回学術総会会長、研究賞選考委員長）より、今年度選考委員として、井下 尚子 理事、千葉 知宏評議員、和田 典男 幹事を推薦したいとの提案があり、満場一致で承認された。

4. 幹事追加の件

方波見理事長より、学会役員を中心メンバーとなる次世代の育成また専門領域の充実化を図るため、阿部一朗評議員（福岡大学）、堀内喜代美評議員（東京女子医科大学）の2名を幹事に推薦したいと述べられ、満場一致で承認された。それぞれ阿部評議員は広報、堀内評議員は渉外を担当していただく。今年度の評議員会・総会にて報告され、2名の任期は2026年度の総会日までとなる。

5. 第28回(2024年度)学術総会の報告<決算を除く>

中島正洋理事(第28回会長)より、多くの参加者を得て盛況裏に終了したことが報告された。

日 時: 2024年10月11日(金)~12日(土)

会 場: 出島メッセ長崎

テーマ: 内分泌病理学とダイバーシティ

参加者: 109名(一般:78名 学生:2名 招待:29名)

プログラム: 特別講演 1題、受賞講演 2題、教育講演 1題、
招請講演 1題、ランチョンセミナー 1題、
シンポジウム 3題(10演題)、一般演題 24題、CPC 2題

6. 第29回(2025年度)学術総会の準備状況

矢澤卓也理事(第29回会長)より、2025年10月17日~18日(土)に「内分泌学、基礎と臨床の接点」をテーマとし、ライトキューブ宇都宮での開催を予定していること、プログラムについては、一般演題の他、シンポジウム4題、ランチョンセミナー1題、公募型ワークショップ1題を予定していると報告があった。多くの演題登録をお願いしたいこと、会期中に宇都宮でイベントが開催されるため早めに宿泊予約をしていただくよう要請があった。

7. 第30回(2026年度)学術総会の準備状況

和田典男幹事(第30回会長)より、第30回学術総会は2026年10月16日(金)~17日(土)に札幌市教育文化会館にて開催予定であると報告された。

8. 学会HPへのバナー広告掲載状況

矢澤理事(広報担当)より、2025年度のパナー広告は11社が掲載済であることが報告された。(継続: エーザイ株式会社、JCRファーマ株式会社、帝人ヘルスケア株式会社、日本イーライリリー株式会社、ノーベルファーマ株式会社、ノバルティスファーマ株式会社、ノボノルディスクファーマ株式会社、富士フイルム和光純薬株式会社、レコルダティ・レア・ディジーズ・ジャパン株式会社、ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社、バイタルネット株式会社)

9. コンサルテーションの現状について

近藤哲夫理事(コンサルテーション委員長)より、2024年9月から2025年3月までの依頼は3件、2024年度全体では5件であったことが報告された。

10. 第99回(2026年度)JES学術総会PG委員会の結果

方波見理事長より、6月6日(金)7時30分から幕張メッセにて実施された2026年度日本内分泌学会学術総会(ICE2026/JES2026)プログラム委員会での議事内容について

報告があった。

2026年6月に開催されるICE2026/JES2026については、パラレルではなく、ICE/JES（英語）として6月2日（火）～5日（金）に、6月6日（土）は日本内分泌学会として必須のプログラムを日本語で実施する予定であること、昨秋に日本臨床内分泌病理学会として推薦した演題はJESの6日（土）のシンポジウム（構成：90分セッション／演者3名×2トラック）と教育講演（オンデマンドのみ）で採用される可能性があること、追加で6月末までにICE向けの基礎分野（セッション構成：90分セッション／演者3名）の演者推薦の依頼があったこと、また6日（土）予定のシンポジウムと教育講演（オンデマンドのみ）の追加や見直しがあれば提案いただきたいとの要請があったことが共有された。

1 1. 会員の状況について

田辺晶代理事より、2024年度末の会員状況は283名で例年横ばい状態が続いており、一般会員の増加が望まれる。

若手の先生方は、学術総会では現地参加ではなくWebでの参加が多いが、オンデマンド配信等は費用もかかるため、内分泌外科、泌尿器科、脳神経外科、甲状腺など、内分泌外科系の先生、また若手の先生方に対し、入会のご案内・お声がけを行っていただきたい旨要請された。

1 2. 学会への寄付金、奨学金、賛助会員の状況

方波見理事長より、2025年は賛助会費として株式会社バイタルネットより5万円の入金があったと報告された。

1 3. 評議員就任状況について

方波見理事長より、現在評議員は48名であるが、本会の運営活性化のため、地域性や専門分野などを考慮いただき、是非多くの評議員申請の推薦をお願いしたい旨述べられた。尚、今年度の評議員申請の締め切りは9月17日（水）である。

1 4. 日本内分泌学会 100周年特別企画プログラムについて

方波見理事長より、第98回日本内分泌学会学術総会会期中の6月6日（金）に日本内分泌学会100周年特別企画プログラム「6つの分科会から、内分泌学会の未来への期待」が実施され、日本臨床内分泌病理学会からは、「日本臨床内分泌病理学会の歴史と内分泌学会の未来への期待」のタイトルで長村義之先生（日本鋼管病院 病理診断科）に登壇いただくことが共有された。

1 5. 第19回国際比較内分泌学会議（ICCE19）の件

方波見理事長より、第19回国際比較内分泌学会議（ICCE19）が2025年7月8日（火）～12日（土）に仙台国際センターにて開催され、鈴木貴理事のご尽力により、日本臨

床内内分泌病理学会との共催シンポジウム「New advances of tissue imaging in endocrinology」が、招待講演者4名、公募演題3名で行われることが共有された。

16. 次回理事会の開催予定について

方波見理事長より、次回の理事会は、2025年10月16日（木）16時よりライトキューブ宇都宮で開催予定であることが報告された。

以上

（作成：事務局、理事長/副理事長/筆頭理事：校閲済）